

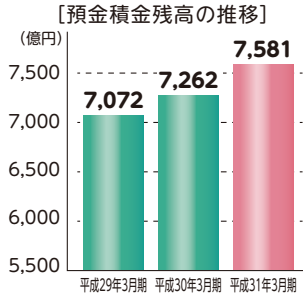
## 平成30年度業績ハイライト

## 預金積金残高

7,581億円

夏冬2回の定期預金キャンペーン実施に加え、静岡県と連携した預金積金商品を販売いたしました。そのほか、オリジナルキャラクターを制作し、プロモーションを強化いたしました。

その結果、預金積金残高は前期比319億12百万円増加いたしました。

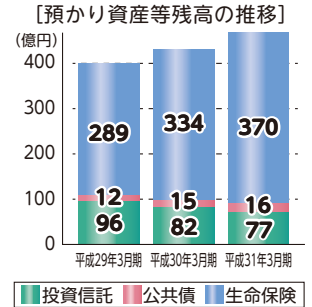


## 預かり資産等残高

464億円

「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティ)」に関する基本方針に基づき、お客さまのニーズに沿った商品のご提案と情報提供に努めてまいりました。

その結果、投資信託・公共債・生命保険の合計残高は464億76百万円となりました。

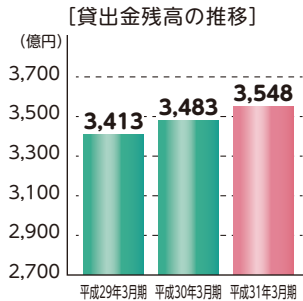


## 貸出金残高

3,548億円

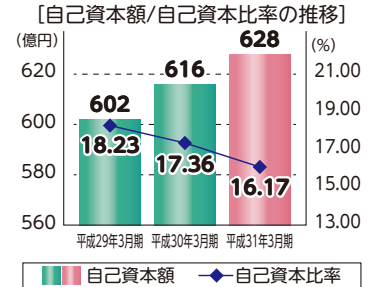
事業者のお客さまとの深度ある対話を基に、資金ニーズに積極的にお応えしたほか、個人のお客さまには、各種団体信用生命保険の取扱いを拡充するなど、商品性の向上に取り組んでまいりました。

その結果、貸出金残高は前期比64億66百万円増加いたしました。



## 自己資本比率(単体ベース) 16.17%

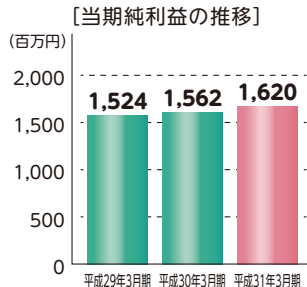
自己資本比率は16.17%と、リスクアセットの増加により前期比1.19ポイント低下いたしました。引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。



## 当期純利益

16億円

貸倒引当金戻入益の計上などを要因に経常収益が増収となり、経費削減にも努めたことで、当期純利益は前期比57百万円の増益となりました。



## 不良債権の状況(金融再生法ベース)

金融再生法上の不良債権残高は128億円となり、不良債権比率は3.58%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で120億円、93.72%がカバーされ、残りの不良債権残高も潤沢な自己資本628億円によりカバーされております。

